

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)

2022-2023年度 国際ロータリーテーマ

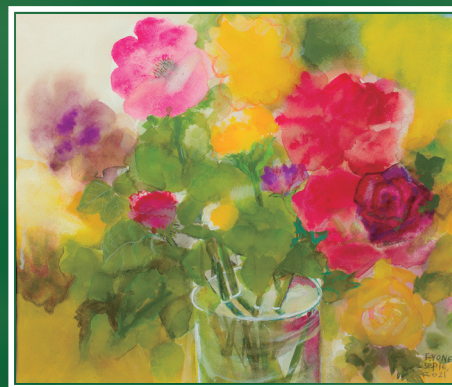
イマジン ロータリー

R.I.会長 ジェニファーE・ジョーンズ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 上沢 広光

2022-23年度 上田ロータリークラブ

- 会長 矢島 康夫 ● 副会長 小幡 晃大・三井 英和
- 幹事 櫻井 雅文 ● 会報委員長 酒巻 弘



第2895回例会 (令和5年1月23日)



ホームページQR

[慶祝]

お誕生日(5名)

- 織 英子さん ● 河田 純さん ● 清水一郎さん
- 宮川 泰さん ● 矢島康夫さん



結婚記念月(1名)

- 酒巻 弘さん



事業創立記念月(7名)

- 内河 利夫さん ● 金子 良夫さん ● 小山 宏幸さん
- 島田甲子雄さん ● 清水 一郎さん ● 湯田 勝己さん
- 小林浩太郎さん



[会長挨拶]

矢島康夫 会長

2023年最初の例会となりました。本年もよろしくお願いたします。

例年1月の第3日曜日は、上田市消防出初式です。本年は1月15日に3年ぶりに挙行されました。

上田の消防は先輩から「江戸火消」、「加賀鳶」と並んで、日本三消防の一つと称されることがあると教えられました。上田の消防人がそのように自負する長い歴史があったようです。

真田家では火気を取り扱う者が多く住んでいた鍛冶町に火消の役を命じたので、早くから鍛冶町には火消し係ができていました。そして火消係としての課役に対して、年貢を免じていました。鍛冶町がこの時代すでに火消係を勤めたということが後世まで伝統となり、消防活動はいつも鍛冶町が第1といわれ、明治の消防番組でも鍛冶町が第1番組となりました。

その後、上田城主になった仙石政俊は大阪城加番(警護役)を5回命ぜられ、その間の1665年天守閣が落雷により炎上、火薬庫への延焼を阻止し大坂の町を守り、これにより将軍から長刀一振りを下賜されました。1668年、藩命により上田の城下に消火用の水かご61個が常備されました。

続いて1706年、但馬の出石(兵庫県豊岡市)から松平氏が所領換えとなり、以降明治まで治め、上田消防をさらに発展させるため力を注ぎました。当時江戸においては、正月6日に初式を行い町火消や加賀鳶が町内を練り歩いた後、はしご乗りを演じていました。上田でも同様に初式を行いはしご乗りも演じました。これは信州では上田だけであったようです。1707年「原町問屋日記」には、消火用水かごを134個作ったと記述されています。1730年



10月には、横町海野町の大半が焼失、12月には藩邸が全焼。これにより鍛冶町はもとより、原町海野町などの商家からも義務的に火消係が出るようになって、後には庶民全戸の若者が消防組に参加するようになり、明治の消防組、戦時中の警防団を経て戦後の自治体消防法の消防組織へと歴史を刻んでいます。

去年は、クラシックホテルの会のホテルの紹介で、何とか会長あいさつを乗り切りましたが、後半はクラシックホテルの会には入っていませんが準クラシックホテルの話と先ほど3消防の話をしました、日本人が好きな3大何とかの話を変えて行ければと思います。

【年男に聞く】

●飯島幸弘さん 「年男(兎年60歳)の弁」

私がロータリーに入会して最初に困ったことが、クラブ計画書に載せる「趣味」をなんて書くかということでした。



人様に胸を張って言えるような「趣味」など無く、やむを得ず何年か続いている「水泳」と記入しました。

興味があることはいくつかあるのですが、今日はその興味あるもののお話しをしたいと思います。

ここ何年か夫婦ではまっているのが「断捨離」です。数年前に本を1,400冊ほど処分しました。それまでの私は、部屋の大きな書棚の隙間を埋めたくて読書をしていたようなものでした。新しい書籍を買って、適当に読み、書棚に飾っていくのが楽しみでした。断捨離の基準は「もう一度、読みたくなるか」でした。二度三度読むという本は滅多にないものです。そうすると本当に思い入れのある本がわずかに手元に残りました。と同時に書棚もダウンサイジングして、気に入っている小物や写真を並べてもスカスカの本棚を見て「余白の美学」を楽しめるようになりました。

去年はレコードの断捨離にも手をつけました。CDが普及し始めたのが20代の半ばでしたから、中学時代から集めたレコードも結構な枚数ありました。ただ再生するプレーヤーを持っていないので、本当に残しておきたい10数枚を除いて、業者に引き取ってもらいました。なんでも今はレコードが見直されてちょっとしたブームになっているようです。中にはそれなりの値段で引き取ってもらったものもありました。

あとは洋服など身に着けるものも断捨離しました。断捨離をして何が得られたかということ、今自分が所有しているものがよくわかり、頭の中がクリアになったことです。入ってくるものも断つので、無駄なものを買ったり

もしません。モノにこだわりは持ってても執着はしないことで、心が軽くなります。

「風の時代」をご存じの方も多いと思います。西洋占星術で2021年から始まったとされ、それまで220年続いた「土の時代」がモノや財産を重んじる物質主義であるのに対して、「風の時代」は風のように目に見えないもの、例えば情報や知識などが重視される時代です。持つ時代から持たない自由を楽しみ、これまでの価値観やルールに縛られず「風のように」軽やかな発想で生きていきたいと思っています。

●斎藤達也さん 「年男(兎年48歳)の弁」

皆さま、改めまして本年もよろしくお願ひ申し上げます。私は1975年(昭和50年)10月14日生まれで、今年で48歳になります。妻も同い年なので、今年夫婦



そろって年男と年女ということで、良い年にしていききたいなと思っております。正直なところ、今までの人生で年男を意識したことはありませんでしたが、今回、このような機会をいただきましたので、今年はどうなるのか、「うさぎ年」、「癸卯(みずのとう)年」について少し調べてみました。今は様々な情報が氾濫しておりますが、ここでは私自身が参考にしたいと思えた解説を皆さまにもご紹介したいと思います。

癸卯年は、新機軸を打ち出す年と言われ、開運の要点は、「沈思黙考(黙って物事をじっくり考えること)」とのこと。「癸」は、大地を潤す恵みの「水」を示し、静寂・思考・知恵・育む・波乱等の意味があり、次の新たな生命が成長を始めている状態。「卯」は、温和・成長・向上・飛躍という意味があり、希望にあふれ、景気の回復・好転など、何かを始めるには良い年。

去年の「寅年」で春が来て、「卯年」は草木が成長し生い茂り、来年の「辰年」で形が整った状態になると言われており、3年かけて形を整えていく気持ちでいることが大事。中間である「卯年」は、これまでの努力が実を結び、より成長が進んで勢いよく飛躍する年と言われ、旧態を一新する素晴らしい新機軸が次々と生まれてくる年となることを期待できるとのこと。

それをもたらす思考形態は、静寂・温和にして器におさまった「沈思黙考」が最良。成長の時だからこそ、当然その先もしっかり考えていくこと。さらに、結果が出なくてもより成長を目指してあきらめることなく進めていく年のようです。

こちらの解説を読むまでは、うさぎ年だけに「元気に飛び跳ねる一年にするぞ」という気持ちでおりましたが、

一方で、ここ数年の自然災害にコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、それらに伴うエネルギー価格や物価高騰等、非常に先行き不透明な厳しい時代の中で、「飛び跳ねる」とか「飛躍」というよりは、まずは平穏無事に過ごせることが大切だなと感じていました。しかし、勢いよく飛躍する年、旧態を一新する素晴らしい新機軸が次々と生まれてくる年をもたらす思考形態は「沈黙思考」とのこと、成長の時だからこそ、その先もしっかり考えていくこと、結果が出なくてもあきらめることなく進めていくというところが妙に納得した次第であります。

参考までに過去のうさぎ年にはどのような出来事があったのかを調べてみました。

2011年 日本：東日本大震災

世界：金正日総書記死去
「アラブの春」で独裁体制崩壊

1999年 日本：金融再編(住友・さくら銀合併、第一勧銀等3行統合)

世界：ユーロ導入

1987年 日本：NTT東証1部上場

国鉄分割民営化JR誕生

世界：ブラックマンデー

このように振り返ると、それぞれの時代の転機になるような大きな出来事が起こっていたとは言えるのではないのでしょうか。自分自身に当てはめてみても、2011年は東日本大震災後のボランティア経験をキッカケに当時勤めていた商社を辞めて上田に帰ることを決めた年であり、1999年は就職氷河期の真っ只中、社会人として働き始めた年ということで、それぞれが人生の転機になる年であったと言えると思います。

先ほど癸卯(みづのとう)年は旧態を一新する素晴らしい新機軸が次々と生まれてくる年とお話しましたが、ここでは皆さまのような地元企業の経営者の方々のお力になれる新機軸として、個人的にも期待している市議会の動きを1つご紹介したいと思います。

ちょうど本日、この後、上田地域市町村議会議員研修会が行われる予定です。上田市議会をはじめ、東御市、坂城町、長和町、立科町、青木村、嬭恋村と上田地域定住自立圏を構成する7市町村の議会議員及び事務局職員約130人が集まります。そこで講師を務めていただくのが、小出宗昭氏です。

お手元に毎日新聞の記事を参考資料としてお配りしておりますが、静岡銀行出身の小出宗昭氏は全国22自治体が設置している中小企業支援施設、通称「ビズモデル」の創始者であり、「お金をかけずに知恵を出し、中小企業の強みを生かす」提案で、売り上げアップに特化した無

料のコンサルティングを提供しており、コロナ禍でも数多くの中小企業を苦境から救ってきた実績があることから、再度注目を浴びています。ビズは主に自治体の資金で設立・運営されており、コンサルティングを務めるセンター長は全国公募で選ばれます。年収1,200万円が基本となっており、応募者は400人に上ることもあり、全国各地の様々なビジネスの最前線で活躍してきた人材が選ばれ、設立後も毎年、地元経済界の厳しい評価にさらされます(結果が出ない場合はクビになります)。

昨年、私が委員長を務める上田市議会産業水道委員会(上田市の経済を元気にするため、安全安心な水をお届けするために活動しています)で小出宗昭氏ご本人に直接お話を伺い、意見交換を通じて、地方都市におけるビズモデルの可能性を大いに感じたことから、全会一致で、より多くの皆さまに直接話を聴いて欲しいと議会にかけあって今回の研修講師を務めていただくことになりました。もちろん上田市には商工会議所やARECなどの産業支援機関がありますが、ビズモデルの特徴は中小企業の強みを伸ばして、売り上げアップに特化したコンサルティングを提供できることでもあります。また、商工業、農林業、NPO、行政機関等、支援先の業態を問わないこともあり、既存の支援機関とのすみ分けもできることから、そのような支援機関の選択肢が増えることで、より効果的に皆さまのような地元の経営者の方々のお力になれるものと私は信じています。本来であれば本日の研修も、議員だけではなく、皆さまのような経営者の方々に聴いていただきたい内容ではありますが、この後、市長にも面会していただき、副市長や商工観光部長も講演を聴いていただける予定になっておりますので、今後の広がりに期待したいと思っています。

最後に、皆さまにとって、癸卯年が新しき始まりの年でありますようお祈り申し上げます。

【幹事報告】

櫻井雅文 幹事

1. 米山奨学会

ハイライトよねやま274号

2. 地区事務所

地区関係資金の件

書損じハガキキャンペーン

ご案内

ロータリー財団寄付明細表(2022年12月)

米山記念奨学会 ①寄付金納入明細総合表(2022年12月)

②寄付金納入明細表(2022年12月)

③表彰一覧(2022年12月)

④寄付金傾向(2022年12月)

コーディネーターニュース2023年2月号



坂出・坂出東ロータリークラブ共同ラジオ番組開始のお知らせ

3. 上田東ロータリークラブ

第3回会長エレクト・次期幹事打合せご案内

4. 上田青年会議所 新年懇親会御礼状

5. 東信ジャーナル 東信第二グループ主催 小・中学生英語スピーチ 発表会 広告

6. 例会変更 上田西RC 2月16日(休) 定受なし
23日(休) 定受なし
上田六文銭RC 2月14日(火) 定受なし
21日(火) 定受なし
3月21日(火) 定受なし
軽井沢RC 1月30日(月) 定受あり
2月27日(月) 定受あり

7. 会報恵送 上田六文銭RC

[ニコニコBOX]

宮川 泰 副委員長

安齋晃徳さん 飯島幸弘さん
石井懋人さん 内河利夫さん
小幡晃大さん 金子良夫さん
河田純さん 北村修一さん
窪田秀徳さん 桑澤俊恵さん
桑原茂実さん 小林浩太郎さん 小山宏幸さん 齊藤達也さん 酒巻弘さん 滋野眞さん 島田甲子雄さん
春原宏紀さん 関啓治さん 関勇治さん 滝沢秀一さん
田中克明さん 田原謙治さん 土屋勝浩さん 比田井美恵さん 布施修一郎さん 三井英和さん 宮川泰さん 矢島康夫さん 柳澤日出男さん 保科茂久さん



本日喜投額 31名 ￥73,000
累計 ￥1,131,500

[例会の記録]

司会：小熊直人 会場・出席委員

斉唱：ロータリーソング「四つのテスト」

●慶祝 ●年男に聞く ●会長挨拶 ●幹事報告

[ラッキー賞]

河田 純さん

(松本ロータリークラブ森哲夫さんより、ヨックモック)

小山 宏幸さん(矢島康夫さんより、宮古島の塩ちんすこう)

桑澤 俊恵さん

(関啓治さんより、沖縄のお菓子・もずくとめがぶ乾燥スープの素)

酒巻 弘さん

(関啓治さんより、沖縄のお菓子・もずくとめがぶ乾燥スープの素)

春原 宏紀さん(米津仁志さんより、太郎吉パン)

林 秀樹さん(柳澤雄次郎さんより、とらやの羊羹)

島田甲子雄さん(柳澤雄次郎さんより、とらやの羊羹)

柳澤雄次郎さん(島田甲子雄さんより、おじゃこ)

小林 秀茂さん(土屋勝浩さんより、ドラえもん暗記パン)

北村 修一さん(滋野眞さんより、ハツ橋セット)

柳澤日出男さん(宮川泰さんより、ハツ橋)

齊藤 達也さん(出田行徳さんより、塩黒糖・石垣の塩)

飯島 幸宏さん(小幡晃大さんより、成田山羊羹)



[出席報告]

小熊直人 委員



	本日	前々回 (12/19)
会員数	57	57
出席ベース	54	52
出席者数	42 コロナ欠席2	38
出席免除(b) ()内は出席者数	6(3)	6(1)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ()内はMake up 後		3(41) コロナ欠席2
出席率	81.48	82.69

[本日のメニュー]

- 鶏肉の黒酢あんかけ
- 海老と烏賊チリソース
- 茶碗蒸し ●ご飯
- わかめスープ
- 春巻き ●胡麻団子



[次回例会予定]

2月6日(月) 慶祝

ゲストスピーチ 渡邊 務 様

(1月30日発行)

【会報担当】 木内孝信 会報委員